

トピックス① 土地改良区活動指針

～土地改良区の活性化に向けて～

近年、農村の過疎化・高齢化、農産物価格の低迷、非農家の増加など農業・農村を取り巻く状況が大きく変化してきています。

このため、土地改良区はこうした変化に対応しながら、土地改良施設の適正な管理などの本来の役割の充実に加え、新たな役割を求められています。

そこで、これからの土地改良区活動をより充実・強化していくための手引きとして「土地改良区活動指針」として取りまとめました。

1 効果的な維持管理の確立 ～本来の役割の充実～

本来の役割である土地改良施設の効果的な維持管理の確立を目指します。



みんなで施設の維持管理をしよう！



2 地域の農業振興への一層の取組 ～新たな役割の実践～

新たな農業政策が地域に十分反映され、具体的な取組に結びつくよう企画調整役を果たすことで地域の農業振興への一層の取組をしていきます。

地域農業の担い手を確保し、組合員間の農用地利用集積を促進しよう！



地域とともに活動しよう！

3 地域社会への積極的な取組 ～新たな役割の実践～

土地改良施設の多面的機能の更なる発揮と地域資源を守る団体として地域活性化に積極的に取組ます。



施設を大切に使おう！



新しい情報をキャッチしよう！

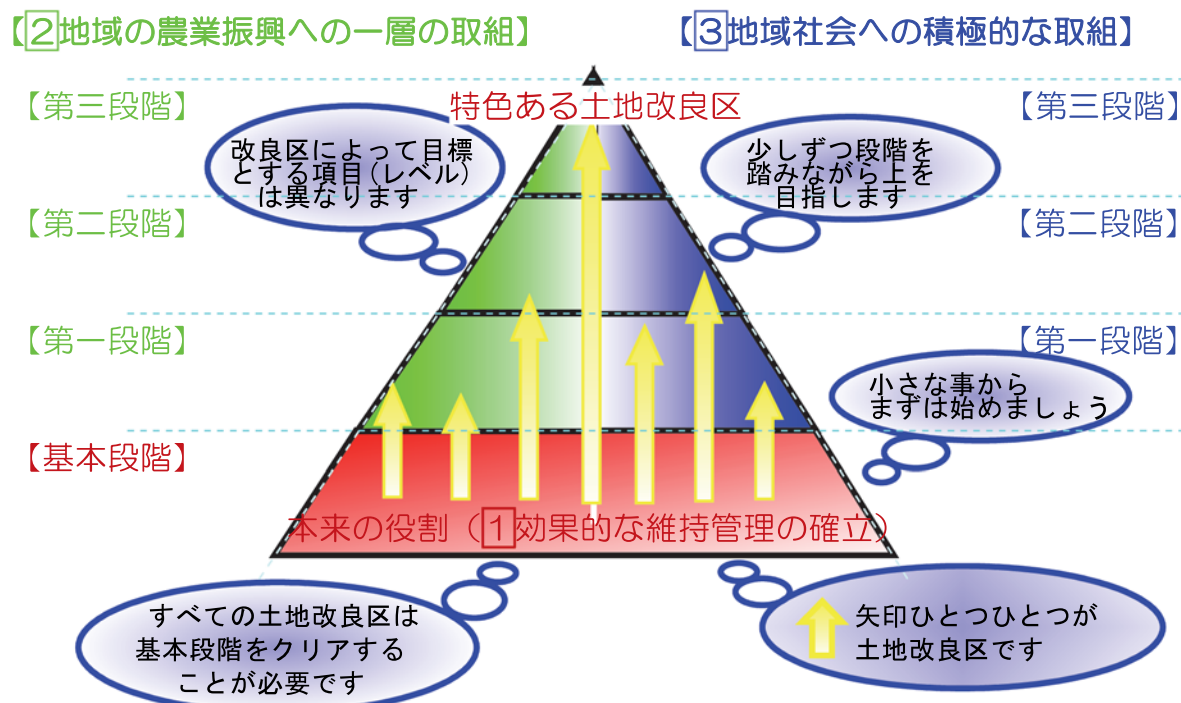


子供たちに伝えよう！

📌 どのように取り組んでいけばいいの？

各土地改良区は運営や地理的条件の面で異なる部分が多く、それぞれの土地改良区に合った活動を実施することになります。そこで、各土地改良区の体制や置かれた状況をよく考え、基本的な取組から発展した取組まで上手に選択し、特色ある土地改良区活動をしていきましょう。

🎵 各土地改良区に応じた活動目標の設定



🎵 段階別の具体的活動例 🎵

基本段階	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地原簿、組合員名簿、維持管理計画書、施設台帳などの管理・運営 ● 土地改良施設の予防保全対策と計画的な更新整備 ● 役員、職員、組合員による先進地の情報収集
第一段階	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政、農業委員会、農業団体等からの情報収集及び組合員への情報提供 ● 土地改良区内での話し合い ● 生き物調査、自然観察会、ウォーキング ● 土地改良施設の多面的機能や土地改良区の役割についてPR ● 地域住民参加の協働活動（ゴミ拾い、草刈り、美化運動など）
第二段階	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地改良区自らが行う研修 ● 担い手への農地集積促進活動 ● 自然環境など地域資源保全管理への支援 ● 教育活動への支援
第三段階	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産組織や集落営農組織への支援 ● 直売所・加工所への支援 ● むらおこしや地域連帯感づくり ● 都市と農村の交流活動

● 効果的な維持管理の確立、 ● 地域の農業振興への一層の取組、 ● 地域社会への積極的な取組